

東京都 江戸川区

住みやすい地域に

江戸川区では、精神障害にも対応した構築支援事業を取り組むにあたり・・・
事業所と行政とが連携のとれる関係である強みを活かし、「精神障害者が病床のない江戸川区で安心して生活ができる」を目標に地域移行支援を推進し、精神障害者が住みやすい地域を目指していきます。

1 令和元年度の達成目標と現時点での進捗状況

| 令和元年度の達成目標 | 現時点での進捗状況 |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. 体験宿泊に対する課題の整理 | 指定一般相談支援事業所、GHより、課題含めた現状の聞き取り中。 |
| 2. 体験宿泊室(地域移行専用室)の増加 | 仕組み作りの検討中。 |
| 3. 病院への説明会実施 | 病院選定、依頼済み。年度末実施予定 |

2 圏域の取組における強みと課題

【特徴(強み)】

- 区内事業者と行政が連携しやすい信頼関係がある。
- 事業者の努力により、一部地域では精神障害者への理解があり住みやすい。

| 課題 | 課題解決に向けた取組方針 | 課題・方針に対する役割(取組) | |
|---|--|-----------------|--------------------------------------|
| 【住まい】 ①地域移行支援における体験宿泊室の不足 ②精神障害者の地域での住まい(アパート、GH)の不足 | 体験宿泊に対する課題の整理 | 行政 | 課題の洗い出し、整理。 新たな委託事業の検討 |
| | 体験宿泊室(地域移行専用室)の増加に向けた仕組み作りの検討 不動産関係者(業者、大家、保証会社)理解とリスクを減らす仕組み作り | 医療 | 関係機関との連携 |
| | | 福祉 | 課題の洗い出し、整理、行政への提案 |
| | | その他関係機関・住民等 | 地域内での見守り、協力 行政への提案 |
| 区内に入院できる精神科病院が無く、区民は周辺の自治体の病院に入院している。 | 区民が多く入院している主要病院から連携を深めるように説明会や意見交換を進めていく | 行政 | 支給決定を速やかに実施、意見交換の場を設定し事業者をバックアップしていく |
| | | 医療 | |
| | | 福祉 | 区内地域資源を把握し利用者に最適なサービスを提供する |
| | | その他関係機関・住民等 | 介護、生活保護と連携していく |

| 課題解決の達成度を測る指標 | 現状値 (今年度当初) | 目標値 (令和元年度末) | 見込んでいる成果・効果 |
|-------------------|----------------|-----------------|------------------|
| 体験宿泊に対する課題の整理 | | | 地域移行支援の実績増加につながる |
| 体験宿泊室(地域移行専用室)の増加 | 1 | 2 | 地域移行支援の実績増加につながる |
| ①病床を持つ近郊病院の連携数 | | | 地域移行支援の実績増加につながる |

3 病院（医療機関）との連携状況

- 病院へのニーズ調査の実施
- 地域移行推進会議（区内の支援者を対象とした地域移行の推進を検討する会議）において、近隣精神科有床病院より事例提供を受け、事例検討を実施。
- 同会議に江戸川区精神保健福祉協議会の委員長である区内の精神科医師、訪問看護ステーション、デイケア実施医療機関へ出席依頼。
- 地域移行に関して病院へ出向いて説明会の実施

4 現時点での課題・悩み

- 精神障害者の住まいの確保について、不動産関係者（業者、大家、保証会社）の理解の推進や、連携に苦慮している。
- 地域移行支援における体験宿泊の場の増加についてGHに協力してもらえる仕組み作り（採算性、周知）